

フエキくんのおはなし③



ぼくもおかえしですよ!



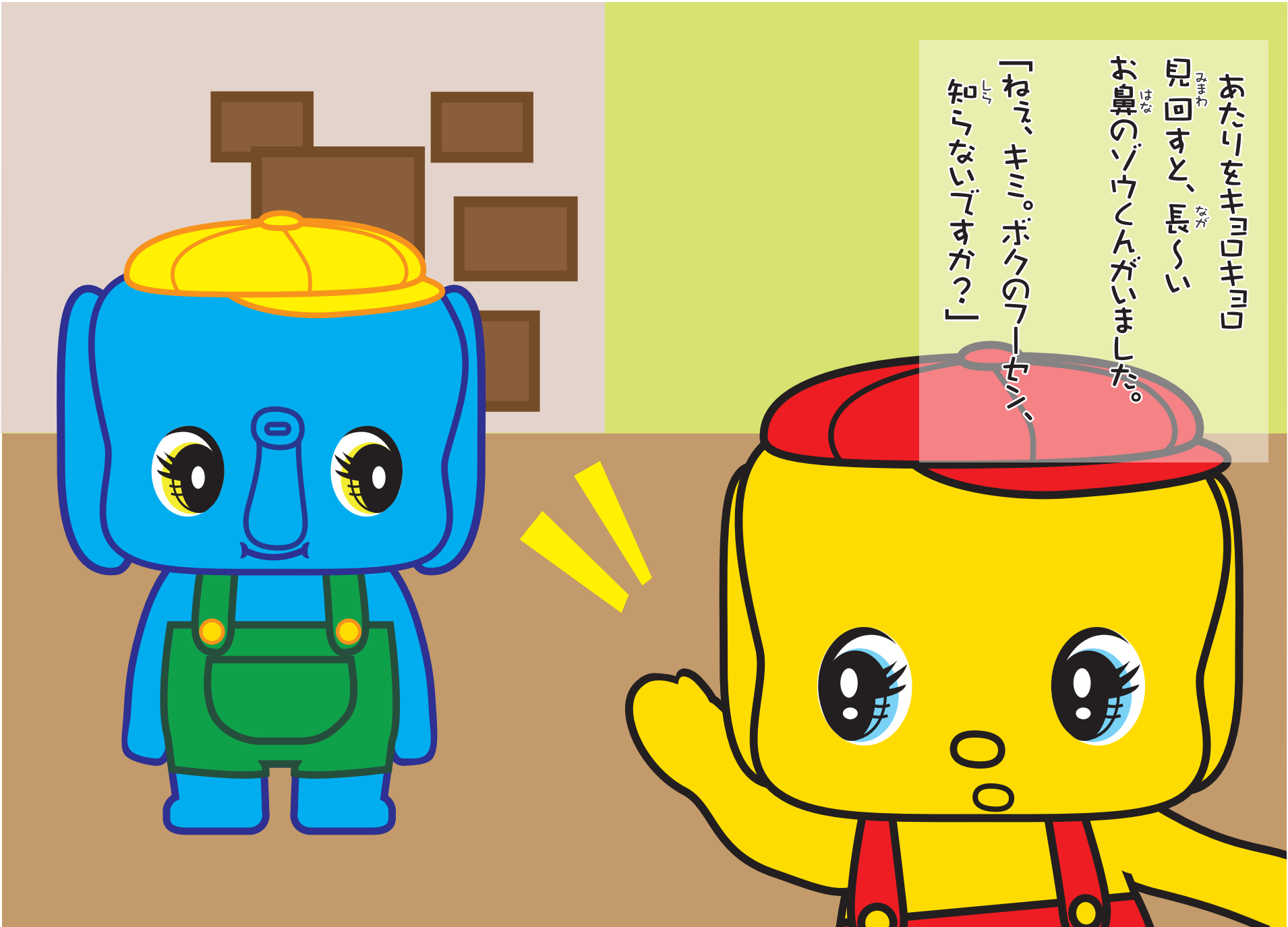
「ボクはフーカン、どデブですが？」

「おにんげんさんがおにんげんさんをおにんげんさんだと思わねえよ、フーカンが煙がくねえし、しまいました。」

「イベントシガは煙がセクシク、おにんげんさんがおにんげんさんがいます。」

「フーカンを追いかけてると、大きなお家が見えつきました。」

「イベントシガは煙がセクシク、おにんげんさんがおにんげんさんがいます。」

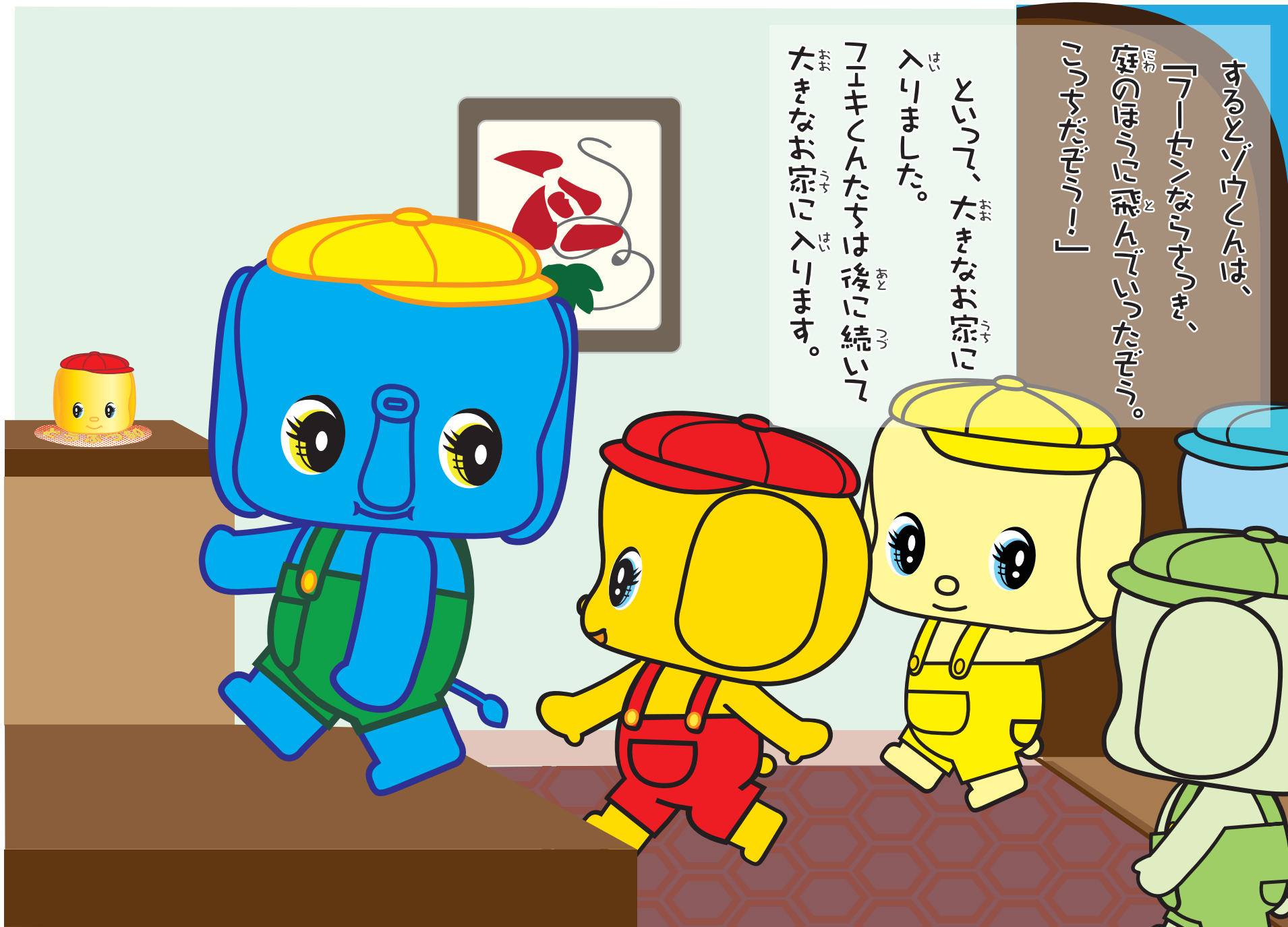


あたりをキョロキョロ

見回すと、長ぐい

おのぼのぼうくんがいました。

「ねえ、キミ。ボクがソーカール、
知らないですか?」



するとゾウくんは、

「フーカンな「サッき」、

庭のほんのり飛んべったぞん。

「さっだぞん！」

といつ、大きなお家に入

りました。

フエキくんたちは後に続いて

大きなお家に入ります。

「わーっ！」

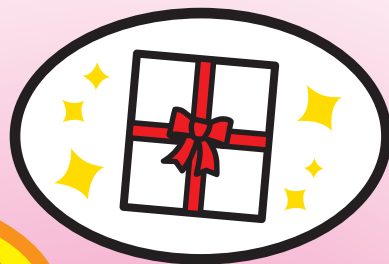
おいおいおいしいなクッキーを目の前のパン、
みんなはフーカンのパンを忘れて
クッキーの夢中になりました。

さくさく、しゅん、おっしん、

「みんなおいおいお菓子が

作れるなんすすすすすー！」





フエキくんたちはお礼に何かしたくなり、
ゾウくんにも相談します。
ゾウくんも、いつもやさしいママに
「何かお礼がしたいぞう。」と乗り気です。
少し考えてからゾウくんは、
ママの手があれていたことを思い出して
フエキくんにも伝えました。





「なるほど・・・それじゃあ、これはどうですか？」
ピンクのフエキくんがそういうと、帽子「フエキ」が開いて、
中なかからハンドクリームハンドクリームが出てきました。

「ゾウくんのママさん、
さっきはおいしいクッキーを
ありがとうございました！」



フエキくん達はハンドクリームをゾウくんママの手にぬってあげました。

「まあ！ありがとうございます、とっつもうれしいわ。」
ゾウくんのママの手はしっとりつやつやになり、
素敵な笑顔を見せてくれました。
うれしいそんな笑顔に、フエキくんたちも
うれしい気持ちになりました。

お菓子作りが終わったからが、
煙が晴れています。

「あっぱくのフーサンですー！」
ゆつくりゆらゆらと風に流される
フーサンが遠くに見えました。

ゾウくんゾウくんママとお別れし、
赤い帽子のフエキくんが焦って外に
飛び出しました。
みんなも後に続いて三輪車に乗り込むと
またみんながフーサンを追いかけるのでした。



お誕生日

